Through the eyes of Japanese and European collectors

Royal Copenhagen and Scandinavian Design

Art Nouveau to Modern

Gunma Museum of Art, Tatebayashi

日欧プライベートコレクション

ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき

アール・ヌーヴォーからモダンへ

2025.10.11 SAT ⟶ 12.14 SUN

［開館時間］午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
［休館日］月曜日（10月13日、11月3日、11月24日を除く）、10月14日（火）、11月4日（火）、11月25日（火）
［観覧料］一般830円（660円）、大高生410円（320円）＊（ ）内は20名以上の団体割引料金　＊10月28日（火）県民の日は無料
＊中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料　＊群馬県在住の65歳以上の方は平日のみ2割引
［主催］群馬県立館林美術館　［後援］デンマーク王国大使館、スウェーデン大使館　［企画協力］株式会社ブレーントラスト ＊第49回県民芸術祭参加

群馬県立館林美術館
GUNMA MUSEUM OF ART, TATEBAYASHI
〒374-0076　群馬県館林市日向町2003
TEL.0276-72-8188（代表）　FAX.0276-72-8338
https://gmat.pref.gunma.jp/

Through the eyes of Japanese and European collectors

Royal Copenhagen and Scandinavian Design

Art Nouveau to Modern

日欧プライベートコレクション

ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき

アール・ヌーヴォーからモダンへ

冬の長い北欧の国々では、家の中での暮らしを大切にし、食卓を華やかに彩る食器などの生活雑貨に、美しいデザインを取り入れてきました。本展では、デンマークとスウェーデンに焦点をあて、19世紀末から20世紀の陶磁器、銀器、ガラス器を中心に、北欧デザインの魅力を紹介します。

デンマーク王立磁器制陶所を起源とするロイヤル コペンハーゲンは、上質な磁器の生産で早くから国際的な評価を獲得し、北欧アール・ヌーヴォーの先駆けとなりました。同時期に人気を競い合った窯のビング オー グレンダールで陶工としてキャリアをスタートしたジェンセンは、のちに銀製品で名高いジョージ ジェンセンを創業します。

一方のスウェーデンでは、北欧最古の陶窯とされるロールストランドが品格ある陶磁器を送り出してきました。また、同国スモーランド地方では古くからガラス工芸が盛んで、1950年代にはオレフォスやコスタといったガラスメーカーによって芸術性の高いガラス作品が生み出されました。

本展では、日欧の貴重なプライベートコレクションから約200点を選りすぐり、アール・ヌーヴォーからモダンへと連なる北欧デザインの流れに迫ります。

| 左作品から | ◎《染付金彩鷺文皿》ビング オー グレンダール　デザイン：ピエトロ・クローン　ペインター：ファニー・ガーデもしくはエフィー・ヒーガマン＝リンデンクローネ　1886-1888年　塩川コレクション ◎《浮花付花瓶》ロールストランド　原型：ルベン・リーシング　装飾：アストリッド・エヴェルロープ　1900-1910年　塩川コレクション ◎《「ラムセス」花瓶》オレフォス　マルティ・リッコネン　2000年頃　個人蔵　Photo Michael Whiteway ◎《「水遊び」花瓶〈アリエル〉》オレフォス　エドヴィン・オーストロム　1937年　個人蔵　Photo Michael Whiteway ◎《花瓶〈クラーカ〉》オレフォス　スヴェン・パルムクヴィスト　1950年代　個人蔵　Photo Michael Whiteway　| 上部タイトル横作品 | ◎《眠り猫置物》ロイヤル コペンハーゲン　原型：エリック・ニールセン　1923-1928年　塩川コレクション

会期中のイベント

https://gmat.pref.gunma.jp/

＊各事業の詳細・申込方法は、HPをご覧いただくか、直接お問い合わせください。

◎記念講演会

「ロイヤル コペンハーゲン、ビング オー グレンダールの魅力」

11/9(日)　14:00～15:30　[申込不要・要観覧券・定員130名]

講師：塩川博義氏(日本大学教授・コレクター)

◎たてび☆びじゅつ部

「青と白のきらめき～オリジナルペーパーウェイトをつくろう～」

11/15(土)　13:30～15:30　[申込不要・無料]　＊自由な時間に参加できます

◎学芸員によるギャラリートーク

10/22(水)、11/29(土)　各日14:00～(約40分)[申込不要・要観覧券]

◎たてび☆キッズウォーク

10/25(土)、11/22(土)　各日13:00～15:30[申込不要・中学生以下対象・無料]

＊自由な時間に参加できます　＊参加記念品付き

◎2025・ポンポン生誕170周年記念イベント第2弾

＊詳細はHP・SNSでお知らせします。

－特集展示「ポンポンの故郷ソーリュー」　10/11(土)～12/14(日)

－ポンポン・ツアー　11/23(日・祝) 14:00～14:30[申込不要]　＊参加記念品付き

別館展示

「フランソワ・ポンポン関連資料より　―ポンポンの磁器作品―」

10/11(土)～12/14(日)

群馬県立近代美術館のご案内

＊詳細はHPをご覧ください。

◎「響きあう絵画　宮城県美術館コレクション　カンディンスキー、高橋由一から具体まで」

9月13日(土)～11月9日(日)

◎「水野 暁　視覚の層 | 絵画の層」

9月13日(土)～12月16日(火)

[交通案内]

○車　：東北自動車道 館林I.C.から約9km
　北関東自動車道 太田桐生I.C.から約15km

○バス：「館林駅西口」から、多々良巡回線バスにて「県立館林美術館前」下車すぐ(日・祝は直行便あり)。
　「多々良駅」または「館林駅西口」から、多々良北線バス(火・木・土のみ運行)にて、「美術館西」下車、徒歩5分。

○徒　歩：多々良駅から約1.2km(約20分)

○タクシー：館林駅から約4km(約10分)

[東京都内からのご案内]

○浅草駅または北千住駅から東武スカイツリーライン・伊勢崎線にて館林駅または多々良駅下車。特急「りょうもう」の場合、浅草駅(北千住経由)～館林駅の所要時間は約60分。

○JR宇都宮線ご利用の場合は、久喜駅で東武伊勢崎線に乗り換え。久喜駅～館林駅の所要時間は約30分。

[バス時刻表]

多々良巡回線

館林駅西口	県立館林美術館前	館林駅西口	館林駅西口	県立館林美術館前	館林駅西口
平日・土			日・祝(★は駅と美術館直通)		
8:55	9:22	9:38	9:05★	9:17	9:29
9:55	10:22	10:38	9:55	10:22	10:38
10:55	11:22	11:38	10:55★	11:07	11:19
11:50	12:17	12:33	11:35	12:02	12:18
13:40	14:07	14:23	13:20★	13:32	13:44
14:35	15:02	15:18	14:00	14:27	14:43
15:30	15:57	16:13	15:05★	15:17	15:29
16:25	16:52	17:08	15:45	16:12	16:28
			16:45	17:12	17:28

多々良北線(火・木・土のみ)

多々良駅	美術館西	館林駅西口	館林駅西口	美術館西	多々良駅
多々良駅～館林駅西口			館林駅西口～多々良駅		
9:10	9:14	9:53	10:15	10:46	10:58
11:10	11:14	11:53	12:15	12:46	12:58
			14:10	14:41	14:53

表面作品

| 左上から時計周りに | ◎《花飾文花瓶》ロイヤル コペンハーゲン　ヤニー・ソフィー・メイヤー　1910年　塩川コレクション ◎《ブローチ no.306》ジョージ ジェンセン　ヘニング・コッペル　デザイン1947年、制作1945年以降　個人蔵　Photo Michael Whiteway ◎《金彩鷺ソースボート》ビングオーグレンダール　デザイン：ピエトロ・クローン 1898-1914年　塩川コレクション ◎《皿〈ブルーフルーテッド〉》ロイヤル コペンハーゲン　ペインター：マティアス・ハンセン・ウォルストロップ　1785年頃　塩川コレクション ◎《獅蛙付筆皿》ロールストランド　1897-1910年　塩川コレクション ◎《花瓶〈ソンメルソ〉》コスタ　アーネスト・ゴードン　1954年　個人蔵　Photo Michael Whiteway ◎《ソースポットとプレート no.177、レードル no.141、ブロッサムパターン》ジョージ ジェンセン　ジョージ・ジェンセン　デザイン1916年頃、制作1929年頃、制作1931年頃(レードル)　個人蔵

群馬県立館林美術館
GUNMA MUSEUM OF ART, TATEBAYASHI
〒374-0076　群馬県館林市日向町2003
TEL.0276-72-8188(代表)　FAX.0276-72-8338
https://gmat.pref.gunma.jp/